

# 八王子地本 管理者からのパワハラに抵抗した仲間に対する不当処分・不当出向撤回！

# 怒りの交渉報告集会を開催！

八王子地本は、10月17日18時30分から八王子支部会議室において「申2号（三鷹営業統括センター武蔵小金井駅で発生した不当処分・不当転勤撤回を求める申し入れ）報告集会」を開催しました。リモートでの参加を含め全地本から61名の仲間が集り、会場には数多くの機も寄せられました。

申2号の団体交渉報告では、会社が「第三者行為災害報告書」をAさんに1か月以上も手渡さなかった理由について「書類の作成に時間を要していた」「書類を勤務時間以外に書いていいのか。扱いを三鷹営業統括センターに確認していた」と回答がありましたが、会社が記入する箇所は氏名と住所のみで、1か月以上も渡さない理由にならないことがはっきりしました。また、会社は「Aさんが不安にならないように丁寧なフォローしてきた」と回答しましたが、弁護士事務所が8月9日付で郵送した書面を、9月27日にAさんに手渡して、その場で書くように求めることが丁寧なフォローとは到底言えません。このような会社の対応によってAさんの不安は増大し、会社への不信感は募るばかりです。八王子地本は、本人に対して謝罪すべきではないかと指摘しましたが、会社は「課題はあった」としながらも本人への謝罪を明言することはありませんでした。この事象について団体交渉の冒頭で2時間30分以上も議論し、第1項の議論にすら入れなかったことが報告されました。

また、Aさん自身も労基署へ相談に行き、アドバイスを受けてきたことも報告されました。会社からの回答や対応については納得できるものがないことから、引き続きできることを検討していくことが述べられました。

報告を受け、参加者からは、「な



んて酷い会社なんだと思った」「組合員だろが未加入者だろうが会社はお構いなしで、言うことを聞く人だけを守るという姿勢であり、会社の言うことが絶対だという姿勢に怒り心頭だ」「悪いことをしたら謝るのは人間として最低限の常識だ」「なぜ被害者であるAさんが加害者にされるのか。共にたたかっている」「このような会社姿勢に立ち向かっていくには連帯して団結してたたかっていくしかない」「あり得ないことが起きていることを伝えていかなければ繰り返されてしまう。職場で広めて連帯してたたかっていく」など、発言した全員から共にたたかう決意が述べられました。

※これまでの経緯の詳細は、「緑の風NEWS」No.9、No.38を参照して下さい。

## 軟式野球部

### 第29回軟式野球大会を開催！

9月18～19日の二日間、大宮地本準備の下、栃木県那須塩原市の「石川スポーツグラウンドくろいそ」にて「第29回軟式野球大会」を開催しました。

各地方から選手、審判、役員合わせて97名の組合員が集まり、8チームで白熱した試合を展開しました。万全な準備のもと、心配していた天候にも恵まれ、参加者全員で楽しむことができました。

大会2日目の早朝に東北新幹線列車分離の事象が発生しました。試合は中止とし、組合員が安全に帰宅できることを優先させる判断



断をしました。JR総連の山口委員長より講演をいただき、情勢について再認識するとともに、参加者全員で野球ができる組織力と仲間意識をさらに醸成し、JR東労組運動を軟式野球部から押し進めていくことを確認しました。

## 山岳部 第30回登山大会を開催！

2日目の登山行動は男鹿真山神社からスタート。心地よい海風と秋分の日差しを感じる絶好の登山日和となりました。なまはげが積んだとされる石段を登り、

9月23～24日、秋田地本主管のもと「第30回登山大会」を開催し、男鹿三山に総勢42名が結集しました。1日目は本部の佐藤副委員長からの講演と組合員からの発言があり、職場現実や成果と課題が明確になりました。また、夜の大交流会では各地本自慢の銘酒と秋田

真山・本山・毛無山の三山をお山駆けする総延長10kmのロングトレイルでしたが、流石は健脚我が山岳部、お昼過ぎには楽しく全員でゴールしました。登山という共通の趣味をもとに知識と技術を磨き上げ、仲間と助け合いながら横の繋がりと団結力を高められるサークル活動は、JR東労組の根底にあるヒューマンイズムそのものであることを全員で再確認できました。



## ネイチャークラブ 第28回総会・第28回例会を開催！

10月6～7日、足尾の森とリッチモンドホテル宇都宮駅前で「ネイチャークラブ第28回例会」と「第28回総会」を二日間合わせて27名の参加者で開催しました。

1日目の例会は足尾白沢の森の観察を行いました。2005年から森づくりを続けて生長した木々を見て、森づくりに携わった多くの仲間たちの成果だと実感することができ、一人ではなく仲間と共に取り組みを続けていく大切さを学びました。

2日目の総会は「ネイチャークラブ結成の理念を基に職場で発生する諸課題に立ち向かい、組織の



強化・拡大をつくり出そう！」をスローガンに参加した仲間と意見を交わしました。総会後には大宮地本矢口組織研修部長から「大宮地本のたかひの報告」として講演を受け、ハラスメントの実態やたかひを通して成果を参加者と共に確認することができました。

## 日韓職種間交流 (車両メンテナンス) を開催！

10月1～5日、韓国の鉄道労働者が日本を訪れ、大宮地本・盛岡地本のご協力のもとJR東労組との交流を行いました。今回は車両メンテナンス部門の仲間が訪れ、新幹線の分割併合の様子や、大宮総合車両センターなどを見学しました。

意見交換では日韓の車両検修職場の実態が議論され、CBMによるメンテナンスの省人化が進んでいることや、外注化の危機にあること、駅派



出の縮小など、日韓で課題がほとんど共通していることが浮き彫りとなりました。「安全・健康・ゆとり」ある職場をつくるために今後も連帯していくことを確認し合うことができました。